

つばさ

令和2年7月22日発行



「学校みんなで青森オベーション」

校長 中谷えり子

今年度は、3月の約1ヶ月にも及ぶ臨時休業の後、4月7日の入学式から学校が始まりました。幼稚園に2名、小学部に1名、高等部に6名の新生を迎え、全20名で新年度がスタートしました。スタートしてまもなく、新型コロナ感染拡大防止のため、4月20日から県立学校は再び臨時休業となりました。そのような中、県企画政策部より、Aomorionation「高校生動画チャレンジ」の話があり、高等部の生徒達みんなが、参加することになりました。また、県と青森朝日放送とのコラボ企画では、「高校生動画チャレンジ」のほかに、高橋優さんの「明日はきっといい日になる」の楽曲をリレーしながら歌うという企画もあり、こちらにも参加することになりました。

生徒達は、臨時休業中に「明日はきっといい日になる」の歌詞を調べたり、歌詞に付ける手話を考えたり、チャレンジ動画の意見を出したりと休業中にいろいろと考えてくれました。高等部では、臨時休業に入った日から朝と帰りのSHRや一部の教科をオンライン授業で進めていたことから、休業中に、リモートを使って八戸、むつ、弘前の仲間とつながり、青森オベーションという1つの目的に向かって、全員での意見交換を重ねることができました。



5月7日から学校が再開し、休業中に意見交換した青森オベーションの企画を、スピード感を持って形にしていた生徒達、そして、それをサポートする先生方、その姿から後輩たちをはじめ本校関係者みんなが、たくさんの元気と意欲をもらいました。

高等部の生徒全員が参加した青森オベーションは、5月30日にABA 青森朝日放送「夢はここから生放送 ハッピー」で流れました。新型コロナ感染拡大が心配される状況下で頑張る全ての人たちに、歌と拍手で感謝や応援の気持ち伝えることができたのではないかと思います。

高等部から青森オベーションで発信されたメッセージや取り組む姿勢は、校内の新型コロナ感染予防についての意識を高めてくれました。そして、学校一丸となって、自分、家族、大切な人たちの健康、命を守るために感染症対策を頑張っていこうという気運を高めてくれました。

新型コロナ感染症に関わって頑張っている皆さんに感謝しながら、手洗い、マスク、ディスタンスを合い言葉に学校みんなで青森オベーションを続けていきたいと思います。

* 「あおもりオベーション」は、感染防止に関する正しい知識の普及、感染者やその家族への配慮、医療従事者など最前線で働く方々への感謝などの気運を盛り上げていくための取組です。



自分で考えたメッセージフリップを背景に「明日はきっといい日になる」をリレーして歌う 高等部1年生

P T A会長 あいさつ

高等部保護者

今年度P T A会長を務めさせていただきます。新型コロナウイルスの影響により行事等が中止、延期となっている状況です。中でも、できる行事を充実したものとなるように頑張っていきたいと思います。笑顔あふれるP T A活動となるよう、保護者、学校、地域の皆様のお力を貸していただければと思います。どうぞ1年間よろしくお願いいたします。そして新型コロナウイルスが早く収束しますように。

入学おめでとう

幼稚部保護者

幼稚園に通っていて、年少組になる前に相談し、4月から幼稚部へ通うことになりました。幼稚園より人数が少なくさみしくなり大丈夫かなあと心配していましたが、先生方や上級生、保護者の方に助けられています。今年度は、コロナウイルスで行事が中止になっていますが、楽しいことや我慢するところなど少しずつ覚えていけるといいですね。これからも一緒に頑張りたいです。

幼稚部保護者

にゅうがくおめでとう。昨年の4月から幼稚部へ通い、母はこれから先大丈夫かなと不安だらけでした。でも学校に楽しく通い、さらに毎日ハプニングばかりで、親子共々笑った1年だったと思います。マイペースなあなたなので、母は焦らずに・・・そして笑いを忘れずに。一緒に頑張っていこうね。

小学部保護者

小学部入学おめでとう！あなたが楽しみにしていた小学部での生活がいよいよ始まりしました。まだ少し大きく見えるランドセルを背負い、黄色い帽子をかぶる姿は、とても頼もしく見えます。幼稚部で経験したことを糧に、担任の先生やお兄さんお姉さんたちと一緒に毎日を過ごす中で、色々なことを勉強して、成長していく姿を楽しみに見守っていきたいと思います。

高等部保護者

高等部入学おめでとう。高校生活3年間の中で将来どんな事をしたいのか、どんな仕事につきたいのか、最もやりたいと思うものを考えて、3年間しっかりと勉強し、社会へ出る一歩を踏みだして欲しいと思います。悔いが残らない様、楽しい高校生活を送ってください。

高等部保護者

聾学校での入学式はこれが最後となります。小学部の入学式は1人、中学部では3人、そして高等部では6人となり、仲間が増え、今までとは違った雰囲気での入学式でした。高等部の3年間は社会へ出るための準備となります。自立した生活ができるためにも、自分の目標に向かって、いろんなことに挑戦し、一つひとつの経験を積み重ね、進路を決めていけるよう、仲間たちとの語り合いを大切に高校生活を過ごして欲しいと思います。

高等部保護者

新型コロナウイルスの影響で忘れる事ができないスタートとなりました。高等部では同級生が倍になり、さらに賑やかになったね。自分の考えに固執しすぎず他人の価値観を取り入れ、柔軟性を養って欲しいと思います。とにかく高校3年間、思い切り青春を謳歌してね。

高等部保護者

高校生活ともなると、勉強、部活にとっても忙しい日々になるでしょうが、楽しく充実した3年間を送って下さいね。特にコロナに負けないで、素晴らしい高校生活になるように祈っています。

高等部保護者

高等部入学おめでとう。中学部の制服から高等部の制服に身を包んだその姿を見た時は、成長したなあと思いました。これからの3年間で、色々な事を経験して更に大きくなるのが楽しみです。何事にも真面目に取り組むだろうけど、頑張りすぎず、時々、休みながら一歩ずつ夢に向かって進んでいこうね。

高等部保護者

3年間は、あっという間です。しっかり目標を持ち、悔いのない高校生活を送って下さい。長いようで短い高校生活、思いっきり楽しんで下さい。いつも応援しています。特に陸上楽しみです。頑張れ！

陸上部

陸上部顧問

まずは暗いニュースから。今年度は新型コロナウイルスの影響により、キャプテンの集大成ともいえる東北地区聾学校体育大会陸上競技大会、全国聾学校陸上競技大会の中止が決まり、連覇の夢がついてしまい痛恨の極みです。

一方で、明るいニュースもあります。新たに3名の部員が増え、人数が少ない上に男臭かった陸上部がにわかに華やいております。そのせいか、今までよりも厳しい内容の練習にも積極的に取り組み活気に満ちています。

陸上競技は自分との戦いであるため、大会があろうがなかろうが練習することは変わりません。それぞれが自分の目標に向かって努力してほしいと思います。青森県の大会は実施予定ですので、新青森県総合運動公園陸上競技場で練習の成果を十分に発揮してほしいです。応援よろしくお願いします。

高等部3年 陸上部部長

今年の全国聾学校陸上大会や高総体などはほとんど中止になりました。高校生活最後の大きな大会に出たかったので、ショックでした。7月に高総体の代わりの大会があることが分かったので、この大会に向けてきついトレーニングをして目標を達成できるようにしたいです。

陸上部では4月に新入生3人が入ってきて5人になり、楽しく練習できるようになったかなと思います。みんなの種目は長距離と投擲と混成種目です。僕は青聾を陸上部 No. 1 の学校にしたいです。そのために僕は、後輩たちに今まで教えてもらった事を伝えるために自分から進んで厳しい練習をします。今年の陸上部に期待してください。

卓球部

卓球部顧問

本校卓球部への日頃からの御理解、御協力に感謝いたします。今年度は小学部2名、中学部2名、高等部4名、合計8名の部員となりました。残念ながら大会等参加の見通しを持てずにはありますが、部員全員が卓球を大好きになってくれており、各自が目標を持って日々の練習に取り組んでいます。今後とも卓球部への御支援をよろしくお願いいたします。

高等部2年 卓球部部长

今年の目標は「みんなで上手になろう、みんなで強くなろう」です。部員全員で大きな声を出し、お互いにアドバイスをしています。今年はコロナ感染防止のため大会があるかわかりませんが、来年の大会での「打倒！宮城校」を目指して時間をかけ、強くなれるチャンスと思い練習をしています。これからも卓球部への応援をよろしくお願いいたします。

文化部

文化部顧問

部員は高等部女子1名です。今年度の活動内容は、主に製作活動です。自分が取り組みたい作品を選んで購入し、1人の利点である「落ち着いた雰囲気」のなかで活動しています。これまでもクロスステッチの作品を製作していましたが、今回は大作に挑戦しています。製作している生徒も顧問も、お披露目できる日が待ち遠しいです。

高等部1年 文化部部长

文化部に入って4年目になりました。4年間で作った作品は、クロスステッチの刺繍やモザイクアートなどです。今年は新型コロナウイルスの影響で生け花教室はまだありませんが、中学部1年の時に初めて生け花をしました。難しかったですが、楽しくて段々上手に生けることができるようになりました。今年は「春の姫路城」のクロスステッチ刺繍をしています。青聾祭までに完成したいです。